

令和4年3月4日

ユアサ工機株式会社
社長 湯浅 博文 様

岡山市立御南小学校
校長 石橋 良久

本校のSDGsについて

春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先日、中国銀行西支店太田様より、本校への寄贈についてのご連絡をいただきました。誠にありがとうございます。本校の学習・取組につきましては、SDGsを「みんなで育てる未来の花」として、4年生から6年生まで社会科の授業や体験活動を中心に系統的に指導をしています。4年生ではゴミと水、5年生では生活と環境問題、6年生では世界と環境問題の授業を中心に、岡山市環境局、岡山県環境保全事業団環境学習センター「アスエコ」等の協力も得て、体験活動の充実を図っています。私も、児童への環境問題への意識づけを目指して、各地区を登校指導しながらゴミ拾いをしている毎日です。

本校は平成6年の開校当時から、学校目標を「ともに支え合い、心豊かにたくましく生きる児童を育成する」とし、特に、教育の重点「明るく元気な子ども」を大切にきてきており、平成11年には全国保健体育優良校として表彰もされています。地域のスポーツ活動も盛んで、体育館では剣道、卓球、バスケットボール、バレーボール、フットサル、子ども会活動。運動場ではソフトボール、ポートボール、サッカー、グランドゴルフ、子ども会活動等が行われています。学校を中心として全世代が運動に親しんでいる地域となっています。

しかし、学校施設等の老朽化に加えて、平成30年西日本豪雨では校舎は浸水を免れたものの、周辺地区と同様に、砂場は水没、運動場や中庭等も荒れ果てた状況となりました。この3年間は、SDGsの17の目標の3番目「あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し福祉を推進する」を目指して、地域各種団体やPTAと連携して様々な取組を行い、その中に子どもたちもつなげてきました。体育館の屋根防水・床再整備、砂場の新設、側溝等を埋めた土砂は教職員とPTAで3年かけて15トン余りを掘り上げ、町内会長さんからトラックをお借りして足守の最終処分場へと運びました。総合遊具、バスケットゴール、ブランコ、バックネット等の整備も行いました。また、コンパネを使って15台のなわとび台を教職員と6年生で作製するなど、遊び場の充実も図ってきました。昨年末には、手つかずであった運動場と中庭も学区の建設会社が道路工事用重機等を使って再整備してくださいました。現在は、清掃時間に、6年生がレーキ（トンボ）を使って雨天後の運動場トンボかけ、5年生が体育館清掃、3年生が石掘りと、「明るく元気な子ども」に向けて安全安心な学校づくりを進めてくれているところです。

つきましては、今後も、子どもたちや地域住民が運動に親しみ健康づくりへとつなげていくために、運動場整備用品（鉄レーキ、アルミレーキ、ブラシ、運搬用一輪車 他）を基本とさせていただきたいと考えています。残額は、地域の将来を担う子どもたちのための環境教育関係図書費とさせていただけたらと考えています。

